

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391400070
事業所名	グループホームあさひ鳴海

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	町内会、老人会、町内清掃に参加し、ホームの行事には地域の人も招待している。地域の自治会が積極的にホーム運営に協力しており、水害時の対応につき地域ぐるみで災害対策が練られている。ホームは避難場所としてホームを提供する用意がある。町内の会合でホームの行事を広報してはどうかとの地域の提案もある。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	かかりつけ医、民生委員、町会長、いきいき支援センター職員、老人会長、職員をメンバーとし、隔月で開催されている。今年度掲げた目標達成計画「地域の行事をレクリエーションに取り入れる」では祭りの獅子舞をホームに招き、「ホームの地域への開放」ではホームの祭りに地域住民を招待した。地域代表が町内とのパイプ役を積極的に務めてくれている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	行政との窓口は法人のケア事業部長が務めている。認定更新の書類も郵送せず、持参してその都度ホームの実情等報告し、アドバイスをもらっている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	年に2回ホーム独自で家族アンケートをとり、運営に活かしている。家族向けに入居者の近況を知らせる報告書を郵送している。管理者は「本人の立場に立って考える」ことを指導しており、「それを言われたら本人はどう思うか」という視点をケアの要点として説いている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	×	×	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。